

私の留学体験記

広島県立安古市高等学校 1年 藤森 智大 (ふじもり ともひろ)

留学期間 令和元年7月25日 ~ 令和元年8月10日 (17日間)

留学先 セント・ジョンズ・グラマースクール (アデレード, オーストラリア)

私が今回の短期留学に行こうと思った理由は、英語が少しでもレベルアップするといいなと思ったからです。もともと英語が苦手でどちらかというと嫌いな方でした。それで、オーストラリアに行くまでは不安でいっぱいでした。ホストファミリーと仲良く会話ができるか、現地の学校で友達ができるかなどと考えていました。しかし、実際に行ってみると、ホストファミリーも姉妹校の友達にもすぐに打ち解けることができました。誰もがフレンドリーで気さくに話しかけてくれたので、すぐに緊張感はなくなり、とても楽しく過ごすことができました。自分は英語が苦手だということを伝えていたので、比較的ゆっくりしゃべってくれたり、時にはジェスチャーを使って話してくれたりして、何とかコミュニケーションをとることができました。姉妹校では、主に日本語クラスの生徒たちがバディとなってくれて交流するため、日本の話題で盛り上がることも多かったです。例えば、アニメや歌は知っている人が多いため、自分の好きなアーティストの話をするとうれしく聞いてくれました。また、日本とは違った授業や少し変わった休憩時間があったので楽しかったです。このように、現地の生徒達と友達になることができたことは、今回の短期留学の大きな収穫でした。

ホストファミリーは、学校が終わると迎えに来てくれて、夕食を一緒に食べました。現地の学校は日本と比べて早く終わるため、ホストファミリーと過ごす時間はある程度あります。その時間の中で、ホストファミリーが宿題を手伝ってくれたり、ゲームをしたり、テレビを見たりして交流しました。休日は、主にホストファミリーと一緒にビーチやショッピングセンターに行きました。また、夕食でホストマザー、ホストファザーの家族と集まって、バーベキューをしました。日本との違いが体験できて嬉しかったです。

今回の留学は、私たちに大きな考え方の変化を与えてくれました。ホストファミリーや姉妹校の生徒たちがしてくれたように、自分から話しかけたり、行動できたりすることがどれほど大切か分かりました。自分から積極的に行動できる人は憧れるし、自分もそうなりたいと思いました。留学中に会った人たちはそんな人たちばかりで、そんな彼らと一緒に過ごせたことはとても良い経験で、とても良い出会いでした。彼らとは帰ってきた後も連絡を取り合っているので、寂しさはあまり感じません。遠く離れた場所に、もう1つの家族がいるという感覚を、是非皆さんにも体験してほしいです。